2014 年度　第 21 回　水月会総会

水月会会長　耳鼻咽喉科　鈴鹿有子

平成 6 年 7 月に発足した金沢医科大学女性医師の会「水月（みなづき）会」の第 21 回総会、新人歓迎会が平成 26 年 5 月 24 日、金沢市福久欧風レストラン“AVANCE”で開かれました。

恒例の行事ではありますが、毎年なにかエピソードの生まれる集まりです。今年は何といってもビッグサプライズ！竹越理事長、勝田学長、伊藤北辰同窓会副会長、山本健司校友会事務局代表、教育研究支援課森川仁八氏、総勢５名の男性ゲストをお招きしたことです。昨今女性医師の増加、就労率低下に伴う医師不足、女性医師支援、復職プログラムなど女性医師に関する話題は多く、とくに女子医学生や女性医師の比率の高い我が大学においては、理事長、学長を始め高い関心が示され、一度女性医師の会（水月会）を訪ねてみたいというお気持ちと、水月会を再度紹介したいという当幹部の気持ちが通じて、今回の水月会の視察を兼ねての交流が実現しました。

出席者は研修医 1 年目 5 人、2 年目 2 人、会員 17 人、来賓 5 人の合計 29 名でした。まず会長の鈴鹿が水月会の概要、現在の会員数、新入会員の動向などの説明をしました。現在の水月会会員数は 125 名で、昨年とまったく変わりがない。女性新入局員は 5 名で循環器内科に 1 名、腎臓内科に 2 名、消化器外科に 1 名、形成外科に 1 名入局されました。女子研修医 1 年生は 8 人、2 年生は 7 人でした。3 年前より初期研修医数の増加には目を見はるものがあり、今年は男女合わせると 41 人でした。さらに後期研修、つまり入局への道につながればと思う気持ちは大学関係者は皆同じで、水月会も一役を担いたいと常に考えています。水月会関連の施設といえば女医当直室であるが、利用率は60-80％と好評を物語っています。当直が嫌な業務ではない理由の１つにもなっています。水月会のホームページは病理学Ⅰの清川悦子先生が、昨年 6 月に全面制作してくれました。北辰同窓会のページから入っていけば、豊富なメニューがご覧いただけます。

竹越理事長のご挨拶ではたくさんのフラッシュが光って、スターの様だった。医師が１人誕生するには一億円がかかる。それを負担するのは個人と大学と国。無駄にすることのないよう、特に女性医師の継続を熱く述べられ、それについては金銭面も含めて大学が支援を惜しまないと述べられた。次の勝田学長のご挨拶にもたくさんのフラッシュが光って、2 人目のスターでした。乾杯に引き続き、おしゃれな前菜メニューが続き、ちょっといい気分。次のお言葉は伊藤北辰同窓会副会長、内視鏡科の主任教授。日本で今一番忙しい教授です。わたしも成田空港、博多空港、都内のホテルなどですれ違ったことがあります。彼は同窓会を代表してこの会の開催をお祝いしていただくと当時に、環境の整備にも触れられました。たとえば人気のコーヒー店を誘致するとか、24 時間機能する売店の設置など、深夜まで働く者の環境の改善を強く要望されました。これは

同感、18 時を過ぎれば構内での食料の調達は不可能で、夕食や深夜食のことを午後までに考え確保しておかなければなりません。さもなければ絶食を余儀なくされる。「ダイエットにはいいかも？」　（笑）

変わって新人研修医の自己紹介が始まりました。全員よく発育したお嬢様たちで、長い脚線がまぶしかったです。研修医２年生には１年先輩分の女性らしさが加わりました。それから時間が余す限り会員にマイクが回り、皆近況を説明しあいました。血液内科の廣瀬先生には久々のご参加をいただき、初代会長として設立当時の懐かしいお話を聞かせていただきました。病理学の清川悦子教授は大学院、まさにキャリアアップの話、皮膚科の西部明子先生は夫が思う妻のキャリアの話、英語の澁谷良穂先生、肝胆膵内科土島睦先生、女性外来の赤澤純代先生を始め小児科の中村利美先生、ＯＢの富山成和病院理事長小西啓子先生はネットお見合いの話、・・・。お料理はイタリア風やフランス風のミックス、飲み物はシャンパン、ワイン、隣席の来賓は焼酎でしたが、時間が過ぎるのも忘れました。

次回は眼科の女性医師が幹事役を約束してくれました。今回の幹事は小児科学の女性医師。皆様ご苦労様でした。山下先生、有難う、中村先生、有難う。この３時間足らずの会でしたが、貴方とやり取りしたメールはどれほどのものでしょうか。おかげで大成功でしたよ。これからは日常の大学の仕事がよりやり易く、水月会の本心、会員の交流ができたので、医師の教育にもまた共通の患者さんの為にも貢献できること間違いありません。

会場“AVANCE”

幹事と会長

支援をいただいて大喜び